

地域包括ケアシステム構築に向けた 令和 6 年度の主な取組について

CONTENTS

1

普及啓発の
取組

2

地域との
きっかけづくり

3

地域づくり

4

健康づくり・
介護予防

5

障害に関する理解
と関心の醸成

6

子ども・子育て
関連事業

7

デジタル
デバイト対策

8

市地域見守りネッ
トワーク事業

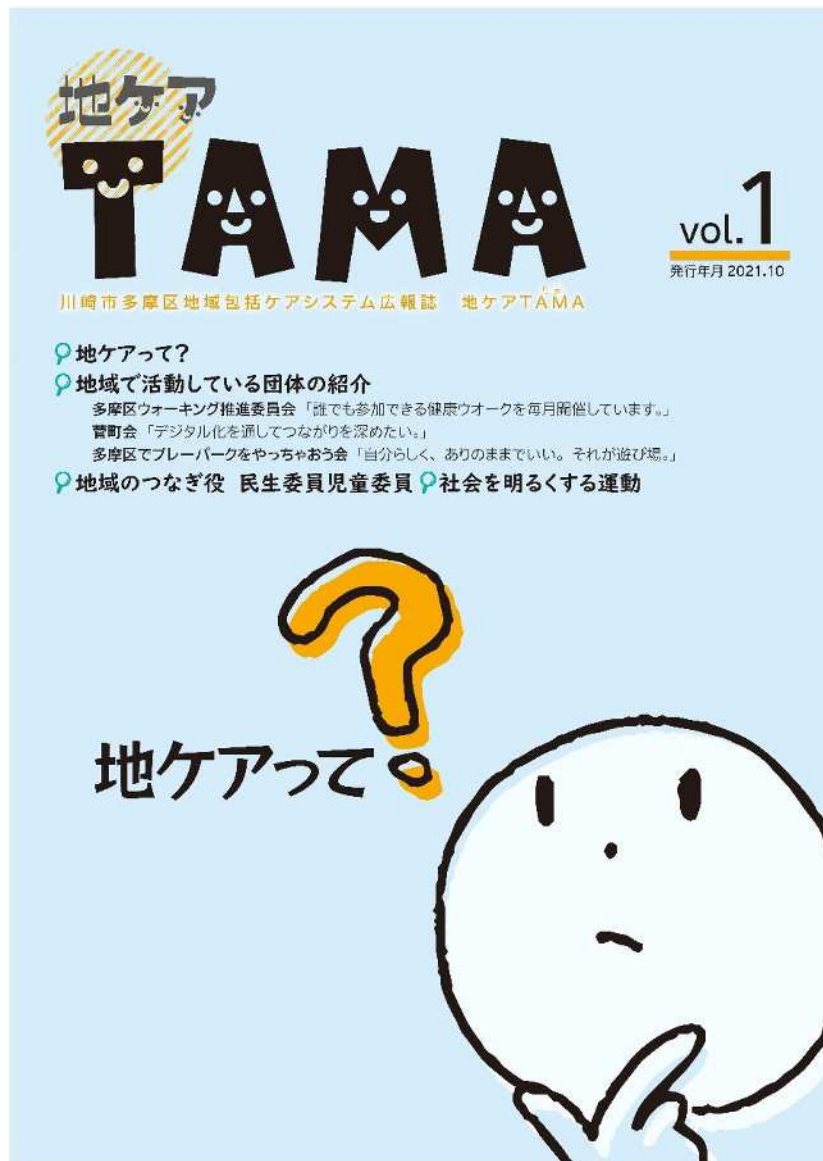


1. 普及啓発の取組

普及啓発の取組～「地域包括ケアシステム」の認知度向上の取組～

【川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌 地ケアTAMA】

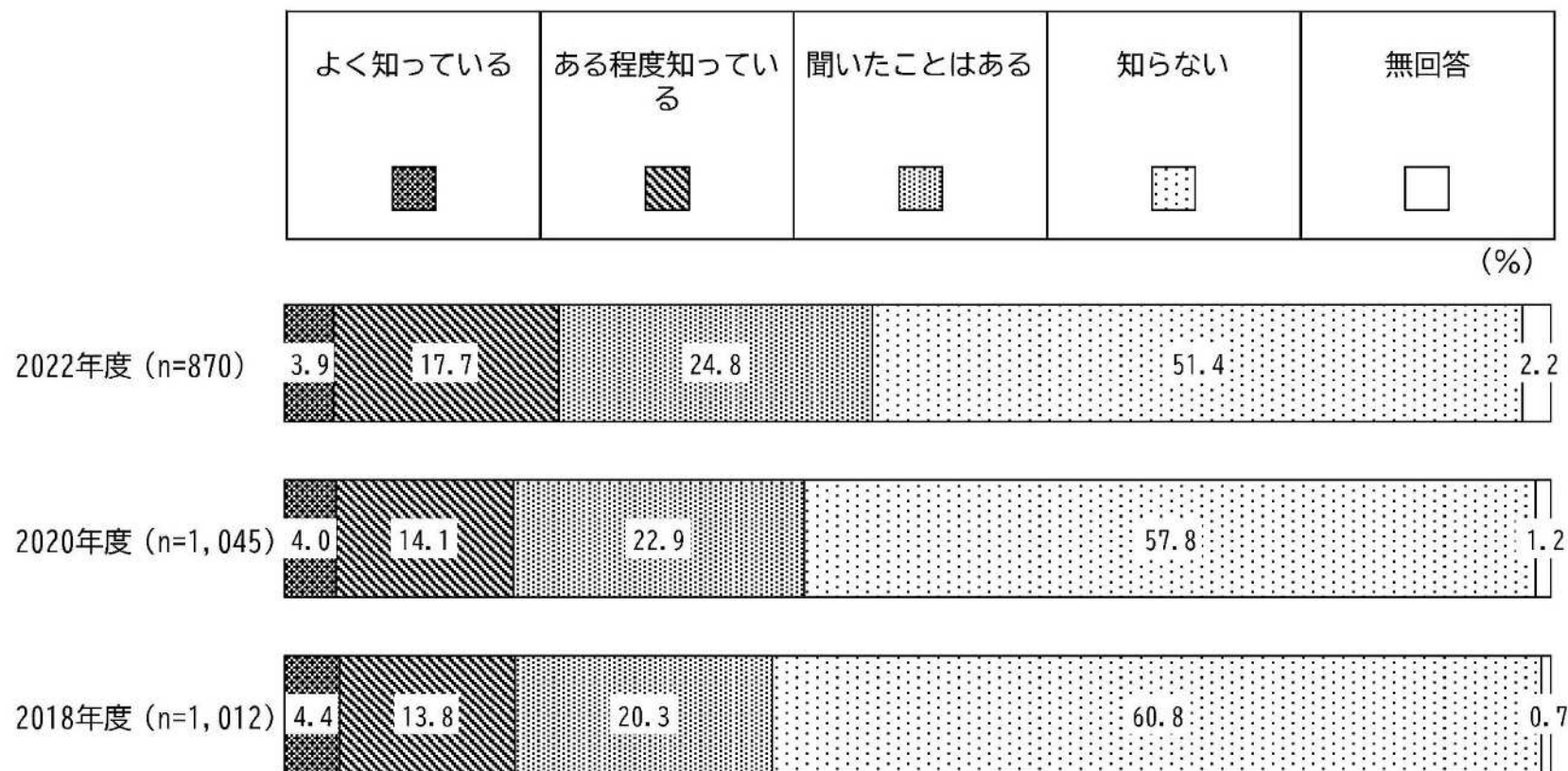
発行年：令和3年～令和5年 発行頻度：年2回 発行累計：vol.1～vol.6



多摩区で地域の方が取り組まれている様々な自助・互助の活動を紹介！



【「地域包括ケアシステム」の認知状況-1】

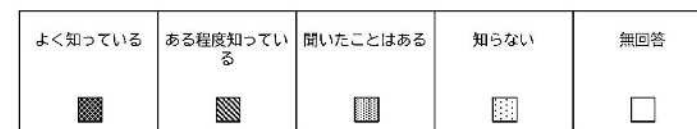
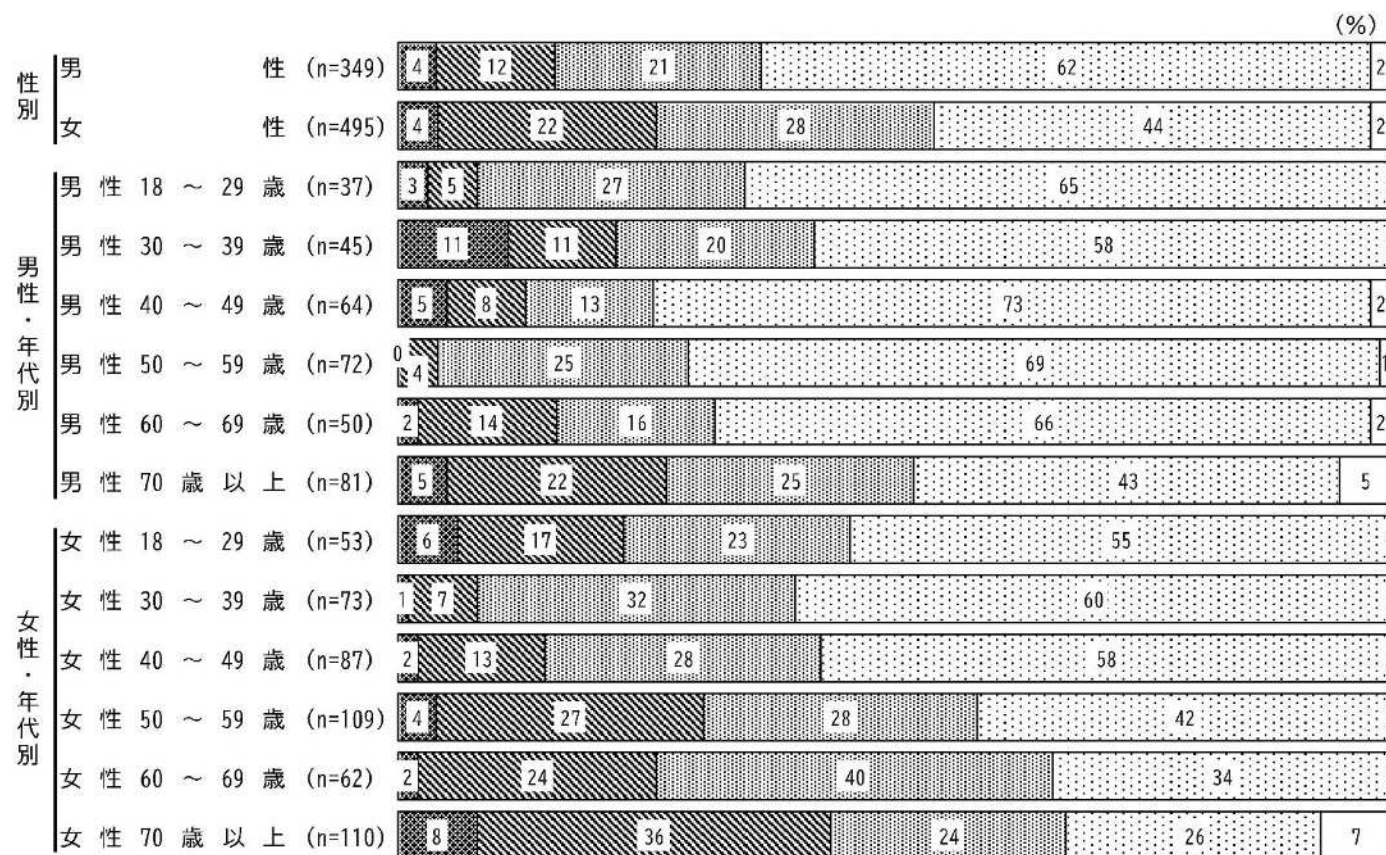


【資料：令和4年度多摩区区民意識アンケート調査】

「『地域包括ケアシステム』の認知状況」について聞いたところ、「知らない」(51.4%)が最も高く、次いで「聞いたことはある」(24.8%)、「ある程度知っている」(17.7%)、「よく知っている」(3.9%)の順となった。「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』(46.4%)は、2020年度と比較して5.4ポイント上昇する結果となった。

1つの
成果

【「地域包括ケアシステム」の認知状況-2】



【資料：令和4年度多摩区区民意識アンケート調査】

性年代別で見ると、「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は男性70歳以上、女性50歳以上で50%を超え、ほかの性年代と比べて高い結果となった。なお、女性30歳～39歳の60%、女性40歳～49歳の58%、男性30歳～39歳の58%、男性40歳～49歳の73%が「知らない」という結果である。この層にアプローチする方法が必要である。

普及啓発の取組～「地域包括ケアシステム」の認知度向上の取組～

【今年度の新たな取組-こども版タウンニュース（多摩区版）の発行【地ケア特集】】



新規
取組

- ・発行頻度：年1回（9月下旬）
- ・発行数：10,000部予定
- ・形式：タブロイド判2ページ
- ・主な配布先：区内の小学校14校
公共施設
- ・内容：小学生向けに
地域包括ケアシステムを伝える内容。

こどもを通じて、
ターゲット層である保護者世代に
アプローチ！

【市政だより多摩区版特集記事の掲載】

年2回、「地域包括ケアシステム」に関連する特集記事を掲載予定。

【掲載時期】

令和6年5月号 《実施済》
令和7年1月号



普及啓発の取組～「地域包括ケアシステム」の認知度向上の取組～

【区役所アトリウムでのパネル展示の実施】



年2回、
「地域包括ケアシステム」に関連
するパネル展示を実施予定

【実施時期】

令和6年9月

令和7年1月(地ケアフォーラム)



【多摩区地域子育て情報BOOK】

妊娠期から就学前後までの、多摩区内の子ども・子育て支援に関するさまざまな情報を集め、テーマごとに紹介したもの。



【多摩区こども相談窓口案内】

<地域支援課>



【たまっ子ノート】

多摩区の認可保育園・認定こども園で実施している、地域子育て支援の情報を掲載している冊子。

<保育所等・地域連携担当>



中学生対象の認知症講演会、小学生、住民及び職域を対象とした
認知症サポーター養成講座の実施



【中学生対象の認知症講演会】



【住民を対象とした認知症サポート養成講座】



【多摩区認知症カフェ・地域カフェマップ】

地域に開かれ、どなたでも気軽に集える「地域カフェ」や認知症の
ころも相談できる「認知症カフェ」の情報を掲載。

【多摩区地区カルテ】

住民の皆様が地域のことを知り、今できることや、これからどのように暮らしていきたいかなどを考えるきっかけとして活用できる「地区カルテ」を作成。





2. 地域とのきっかけづくり

【地域の居場所」探し！「つながり」探し～地ケアフォーラム～】

《企画意図》

令和4年度川崎市高齢者実態調査において、家族以外との交流が「特にない」人は生活に「はり」や「楽しみ」を『感じている』割合が低く、生活の「はり」や「楽しみ」を感じている人ほど『交流がある』割合が高いという結果が出ており、家族以外との交流が生活の「はり」や「楽しみ」を感じる重要な要素であるといえる。

家族以外との交流が生まれるきっかけづくりとして、地域の「居場所」探し！「つながり」探し！を開催する。

《開催概要（予定）》

開催日：令和7年1月25日（土）

開催場所：多摩区役所総合庁舎

トピック

開催後、紹介団体の活動を見学する「現地ツアー」を実施予定。

「きっかけ」→「実際の活動につながる」仕掛けとして実施。

《過去実績》

令和5年度：約170人（団体参加者含む）

令和4年度：約130人（団体参加者含む）

【地ケアフォーラム】×【生涯学習交流集会】

地域の「居場所」探し！「つながり」探し！

参加費 無料 申込 不要

あなたの「やりがい」新発見！探しちゃお！

血管年齢測定やeスポーツも体験できます！（人数制・要予約）

地域の「居場所」や「つながり」が必要な理由ってなんだろう？
地域で活動する方のお話の中からあなたの「やりがい」見つけてみませんか！

第1部で複数の団体のブースを回った方にはちよつとした**グッズプレゼント！**（限定100セット）

日時 令和6年2月10日（土）
13時30分～16時30分（13時開場）

場所 多摩市民館3階大会議室ほか（多摩区登戸1775-1）

対象 どなたでもご参加いただけます
地域活動に興味・関心のある方、他の団体の活動を聞いてみたい方、大歓迎！

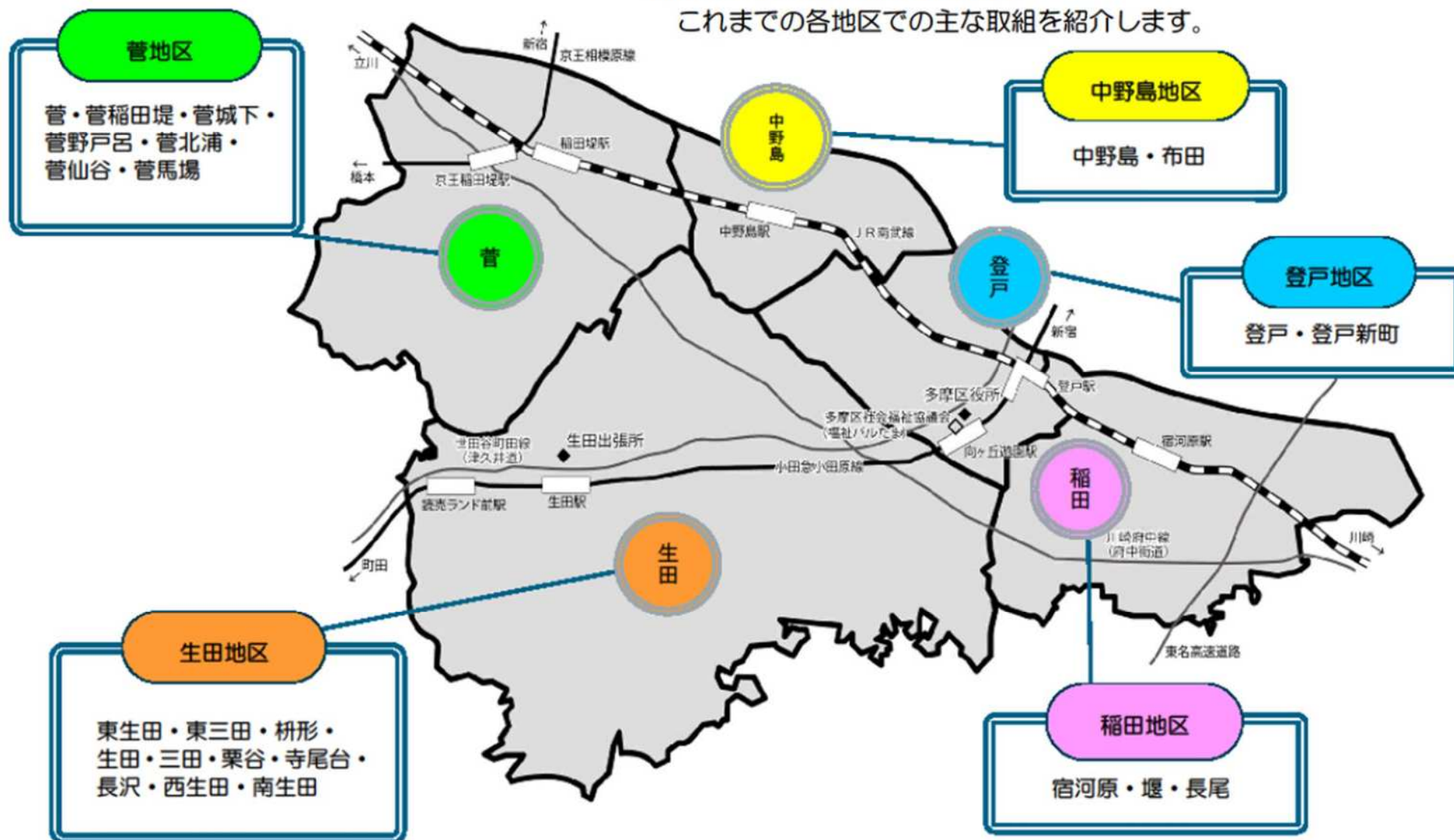
申込方法 事前申込は不要です
※問合せは裏面をご確認ください



3. 地域づくり

多摩区では地区社会福祉協議会の区割りを参考に
区内を5地区に分け、それぞれの地域特性に応じた
地域づくりに取り組んでいます。

これまでの各地区での主な取組を紹介します。



【のぼりとミーティング】

地域活動団体へヒアリングを実施したところ、「登戸地区には様々な団体があるが、横の繋がりはなく、お互いの活動を詳しく知らない」といった意見が多くあったため、団体同士のつながりづくりを目的とした交流会「のぼりとミーティング」を平成30年度に立ち上げた。

地域の団体や住人による地域づくりを活性化させるため、今後も定期的に行っていく。

【主な取組】

◆ のぼりとミーティングの開催（H30～）

- ・ 地域の活動を知り、自身の活動のヒントにすることをテーマに交流会を実施（H30, 31）
- ・ 意見交換会の投票結果をもとに、コロナ禍での活動再開をテーマとした講演を実施（R3）
- ・ 「区画整理」をテーマとした講演・グループワークを実施（R4）

◆ 活動紹介ハンドブックの作成・更新（R2～）

- ・ 団体にアンケートを実施し、活動紹介ハンドブックを作成（R2）
- ・ コロナ後の活動状況確認も踏まえ、ハンドブックを更新（R5）
- ・ 登戸地区のWebページを作成し、ハンドブックを掲載（R5）



【令和6年度の取組】

- ・ のぼりとミーティングの開催（年2回程度）
- ・ 地域活動への積極的な参加



【地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～】

「住民関係の希薄化」や「子育てへの不安」、「情報格差」など地域には、「困り事・心配事」があることが推測されます。そのため、同地区と地区内の活動団体の「困り事・心配事」を共有し、地域の実情に応じた取組を進めていくことが必要と考え、令和4年度から本プロジェクトを3ヶ年スケジュールで取組を実施。

【主な取組】

◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～の開催（R4～）

- ・菅地区内の様々な団体や組織で活動・従事されている方と、地域の困りごとや心配ごとから、地域の課題を改めて見つめ直し、地区内のあらゆる資源を知るための現地ツアーや会議を実施し、地域資源を掛け合わせたアイデア（地ケ算）を出し合いました。（R4）
- ・令和4年度に、出し合った様々なアイデア（地ケ算）のうち、小さくてもすぐに実施できる取組を進め、10の「地ケ算」を創出。それらを共有・促進するための報告会等を開催。（R5）

【令和6年度の取組】

- ・3か年計画で発足した現プロジェクトの今後の在り方を検討するため、報告会や検討会の開催
- ・今年度についても引き続き「地ケ算」を創出していくため、メンバーのサポート



【公園を起点としたゆるやかな多世代交流】

いつ

2023年9月25日（月）
9:30～

どこで

菅なかよし公園

毎月
開催

なにを

9時からの公園体操終了後、
9:30から公園体操の参加
者と
年中生15名が手遊びや
手つなぎ遊びを実施



【中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会】

平成28年度から東京都健康長寿医療センター研究所と多摩区役所が協定を結び（平成30年協定終了）、地域の皆様と一緒に「中野島多世代つながり愛プロジェクト」協議会を開催。「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」を目標に、地域の皆様方と本協議会を構成しあいさつ運動や多世代の交流の場づくり等の活動を通じて、中野島への愛着を育み、持続可能な地域づくりを進めています。



【主な取組】

◆中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催（H28～）

- ・多世代で支え合うまちづくりを目指した協議会の運営、あいさつ運動、まちプロ養成講座、中野島ファミリーカフェ、ポールdeウォーク講座など複合的な働きかけを実施（H28～H30）
- ・「協議会のテーマの明確化」に向けて、3回の協議会を開催。（R3）
- ・R4年度に引き続き、「プロジェクトの周知不足」の改善に向けた取組を実施し、協議会を2回開催。プロジェクトの周知不足の改善に向けた取組として、プロジェクトのキャラクターの名前を中野島こども文化センター、中野島・下布田小学校わくわくプラザに通う児童から募集し決定（R5）

【令和6年度の取組】

- ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催（年2回程度）
- ・プロジェクトの理念である「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」の実現に向けて、ポールdeウォーク、あいさつ運動等の活動支援を継続する。



【主な取組】

- ・ヒアリング調査による地域の情報収集（H29年度～）
各町会、地域活動団体や子育て関係機関に基礎情報収集のためのヒアリングを実施
- ・長尾地区での取組（H29年度～）
長尾台住宅自治会で「これからの長尾を語ろうみんなの集い」等を開催
自治会内住民（279世帯）を対象にアンケート調査を実施
「カフェながお」活動支援（R1～）
⇒ 直近ではR5. 5. 22及びR5. 11. 13に保健師による講話を実施
- ・宿河原地区での取組（R3年度～）
「子育てサロン いちにのさん！」における多摩区社協との連携
「緑化センターまつり」への出展（R5. 11. 12）
⇒ 地域団体との関係づくりや事業の普及啓発のため、地ケアに関するパネル展示や血圧測定を実施
- ・介護予防・健康づくり等を通じた地域づくり
多摩区社会福祉協議会と共催で介護予防教室を開催
⇒ R5. 10. 12及びR5. 11. 8にベジチェック・骨密度・血圧測定を実施



「これからの長尾を語ろうみんなの集い」



「緑化センターまつり」の様子

【令和6年度の取組】

- ・こども防災イベントの開催検討
長尾こども文化センターと連携し、こどもを対象とした防災イベントを企画
- ・地域活動への積極的な参加
- ・ヒアリング等の実施

【主な取組】

・かりがね台モデル事業（H28年度）

かりがね台自治会(西生田5丁目)をモデル地区として選定し、キーパーソンヒアリング、全世帯へのアンケート、ワークショップを開催し、様々な企画を検討。井戸端の会発足。



事業内のアイデアから坂道に設置されたイス

・生田ご近所パワーアップ会議（H29年度）

かりがね台モデル事業と生田地区町連勉強会をもとに、地区全体で地域課題を考えることを目的に生田地区町連を対象に連続講座（2回）開催。

・生田ご近所パワーアップ集会（H30年度～R2年度）

民児協区域単位で3大学（日本女子大、専修大学、明治大学）と連携し、身近な地域の活動や課題について考える住民向けの集会を開催。

（R2はコロナのため中止⇒リーフレット作成）



【令和6年度の取組】

・町内会・自治会、関係機関との関係づくり及び“地ヶ算”の創出に向けたアプローチ

“地ヶ算”の創出を目指して、地区内の町内会・自治会や関係機関にヒアリングを実施。それぞれの主体が持っている地域資源や抱えている課題を把握する。

・介護予防・健康づくり等を通じた地域づくり

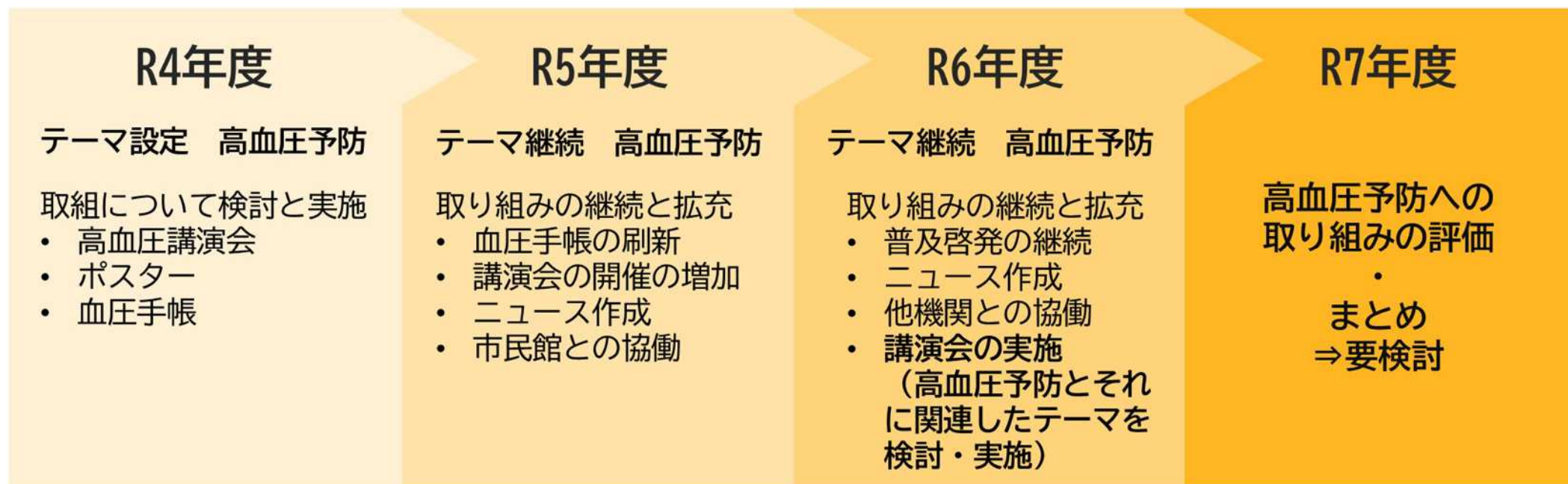
生田出張所で介護予防教室「生活習慣病の予防」や「お口の健康」を実施予定。



4. 多摩区特定健診等のデータを活用した 健康づくり・介護予防

多摩区の現状や地域特性を把握し、地域特性に合わせた啓発を実施することで住民に3つの生活習慣（毎日の飲酒、運動習慣なし、就寝前2時間以内の食事）改善に向けた高血圧予防への意識を高めます。更に、健康づくり推進連絡会議等を通じて企業や関係機関が同じ方向に向かって取組むことで、効果的、効率的に健康づくり・介護予防を推進できるよう連携していきます。

【R4から高血圧予防をテーマに実施】



特定健診の結果をもとにデータを分析。
5地区について特性が見えるかを模索・データの限界はあるものの、課題検討のきっかけづくりになった。



5地区エリアの特性に応じた取り組みの検討・実施

【介護予防教室】

令和4年度

令和5年度

令和6年度の取組

高血圧予防（総論）

アルコールと高血圧の関係

【菅地区】

睡眠と高血圧の関係

【登戸地区】

糖尿病等と高血圧の関係

【生田地区】

運動と高血圧の関係

【中野島地区・稲田地区】

3地区

5地区



5. 障害に関する理解と関心の醸成

【区役所アトリウム等での「パサージュ・たま」の開催（月2回 ※8月除く）】

障害に関する理解と関心を深めるため、総合庁舎1階のアトリウムを利用し、月2回（8月を除く）、区内の障害者団体や生活・就労支援を行っている障害者施設、地域活動支援センター等の活動紹介や作品展示、また、障害に関する相談先の紹介も行っている。



特別
開催

《登戸駅南北自由通路におけるパサージュ・たまの開催》
更なる普及啓発に向け、区役所アトリウムより目にとまりやすい登戸駅南北自由通路にて、10月と11月に各1回ずつ特別に開催する。



広報誌も作成しています！



【多摩SDCにおける区内障害者団体等の作品の常設展示及び販売】

作品をより多くの方に見ていただくため、令和3年12月から、多摩区ソーシャルデザインセンター内で「パサージュ・たま」出展団体の作品を常設展示・販売している。

時 間：平日午前10時～午後4時（年末年始を除く）

場 所：多摩区役所1階 多摩区ソーシャルデザインセンター

展示・販売：焼き菓子、ジャム、アクセサリー、キーホルダー、コースター、ハガキ、小物入れ、染物製品など



【パサージュ・たま事業及び出展団体の活動紹介映像の作成、各所での放映】

「パサージュ・たま」や参加障害者施設等の活動紹介映像を制作しました。各施設等が「パサージュ・たま」に向けて、どのような準備を進めているか、また、日頃の活動の様子を知ることができえる。



映像はこちらから





6. 子ども・子育て関連事業

【こどもの外遊び事業】

「外遊び」を通じて子どもの生きる力を育み、創造力を培うと共に、地域での人のつながりづくりを促す「こどもの外遊び交流」を推進することを目的に、外遊びイベントを開催（年4回）。



【子育て支援者養成事業】

地域の様々な子育て支援活動・多世代交流活動で活躍できる支援者の養成を行うため、連続講座を開催



【子育て支援パスポート事業】

多摩区商店街連合会と連携し、子育て家庭の支援等を目的に子育て支援パスポートを発行。





7. デジタルデバイト対策

【シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座】

地ケア TAMA

参加無料

シニア向け！

かんたんスマホ教室

スマホの使い方がよくわからない、LINEで家族と連絡をとりあいたい、そんな方を対象とした初心者向けのスマホ教室を開催します。これを機に、もっとスマホを有効活用しましょう！

知っておきたいスマホの基礎知識がもりだくさん！

自分のスマホを実際に操作しながら楽しく学べます！

日程	2月29日 (木)	3月7日 (木)
会場	生田出張所 2階会議室	多摩区役所 6階601会議室
①	10:00～12:00 スマホ入門編	③ 10:00～12:00 スマホ入門編
②	13:30～15:30 LINE基礎編	④ 13:30～15:30 LINE基礎編
定員	各回10名程度	
申込	1月16日(火)9:00から電話にて申込み(先着順) 多摩区役所地域ケア推進課 TEL: 044-935-3228	
持ち物	お持ちのスマートフォン、筆記用具	

主催：多摩区役所地域ケア推進課 協力：認定NPO法人かわさき創造プロジェクト

デジタルツール活用による情報格差問題の改善を図るため、「シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座」を開催する。

【過去実績】

- 令和5年度 参加者数 43名
- 令和4年度 参加者数 49名



8. 川崎市地域見守りネットワーク事業

【川崎市地域見守りネットワーク事業】

新聞販売店や生協などの民間事業者などと連携し、日常の業務の中で住民の異変に気づいた場合に、市へ連絡し、必要な支援を行うなど、地域社会全体で見守る体制を確保し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することを目的とした事業。

《通報件数》

令和3年1月～12月	5件
令和4年1月～12月	3件
令和5年1月～12月	13件
令和6年1月～4月	4件

